

■やまだアドベンチャーハウス

(山田学区まちづくり協議会次世代いきいきグループ)

1 【活動の趣旨】

山田に住む若者が、まちづくり活動を通して「生きる力」と「郷土愛」を育むことにより、将来のまちづくりの担い手に繋がる人材の育成を目指す。

2 【特徴的な活動内容】

○2022 やまだアドベンチャーハウス

今年度も昨年度に引き続き、企画チャレンジャーを募集し、中高生企画によるアドベンチャーハウスを実施した。段ボール巨大迷路作り、度胸試し、かまど体験にチャレンジした。

日時：2022年11月6日(日)

9:30～20:00

場所：山田まちづくりセンター、近くの神社

参加者：小学4～6年生28名

中高生10名、大人19名

活動内容：段ボール巨大迷路作り、度胸試し、かまど体験



【段ボール巨大迷路】

3 【実施に当たっての工夫】

・中高生が意見を出し合い、今年度の内容を「段ボール巨大迷路作り」とした。

グループ員の大人も担当別に分かれ、中高生の企画・進行の補助を行った。

・11月開催で時間に余裕を持って計画ができた。

気候が良く、活動しやすかった。

<コロナに関して注意したこと>

日帰り、定員の設定、広い場所での活動、活動場所の移動、弁当、使い捨て容器の使用等。



【度胸試し・かまど体験】

4 【事業の成果】

コロナ禍ではあるが、創意工夫の中で、次世代育成の取り組みができた。アドベンチャーハウス

を通して、小学生と中高生、中高生と大人など地域内の関わりがより密接になっている。小学生は、身近な中高生が企画し、一緒に活動することで、自分も中高生になったら運営側でアドベンチャーハウスに関わりたい、小さい子のサポートをしたいと考える子どもが増えてきた。中高生は、準備・企画・進行の大変さを感じながらも、小学生が喜んで活動しているのを見て達成感があったようだ。来年も企画から参加したいと意欲を見せてくれた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

中高生とはグループLINEを活用しての連絡・調整が不可欠であった。また、中高生が会議に参加しやすい曜日が土曜や日曜と限られ、その中でも部活動があり、調整が難しかった。アドベンチャーハウス当日も半日急に部活が入り、午後からの参加となった。今後は、子ども会指導者連合会や青少年健全育成学区民会議とも連携しながら、継続できる体制づくりを考えていきたい。